

令和4年度 馬感染症研究会

西部家畜保健衛生所尾張支所 榎原徳子

馬の輸出検疫状況①

用途	仕出国	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
繁殖	アメリカ	44	52	59	75	98
	イギリス	44	60	38	46	62
	オーストラリア	10	18	6	15	6
	フランス	1	14	11	8	3
	カナダ	0	0	0	0	0
	その他の国	8	10	8	5	2
	小計	107	154	122	149	171
乗用	ベルギー	67	106	110	86	437
	ドイツ	50	50	49	48	46
	オランダ	42	17	16	0	2
	アメリカ	16	8	8	1	1
	オーストリア	16	15	16	6	13
	ニュージーランド	3	1	0	0	0
	フランス	3	2	1	1	6
	その他の国	12	13	20	9	6
	小計	209	212	220	151	511
競走用	アメリカ	101	112	103	65	102
	イギリス	31	35	28	21	34
	アイルランド	12	26	30	30	15
	香港	12	16	12	6	17
	フランス	12	8	6	1	6
	アラブ首長国連邦	11	14	9	20	11
	オーストラリア	3	8	14	15	7
	その他の国	7	3	1	0	0
	小計	189	222	203	158	192
肥育用	カナダ	2,765	3,844	3,257	1,974	2,448
	フランス	274	801	958	185	620
	小計	3,039	4,645	4,215	2,159	3,068
その他	オランダ	1	0	0	0	0
	ベルギー	1	2	0	0	0
	合計	3,546	5,235	4,760	2,617	3,942

表1 用途別・仕出国別輸入頭数(平成29年～令和3年) 単位:頭数

用途	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
繁殖用	47	37	47	20	15
乗用	7	9	14	3	325
競走用	81	80	64	41	54
その他	24	5	15	0	0
合計	159	131	140	64	394

表2 用途別輸出頭数(平成29年～令和3年) 単位:頭数

用途	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	合計
馬インフルエンザ	131	76	-	-	-	207
馬鼻肺炎	5	3	-	-	-	8
合計	136	79	-	-	-	215

表3 輸入馬の疾病摘発状況(平成29年～令和3年) 単位:頭数

令和4年度 馬感染症研究会

期間 : 令和4年10月26日～28日

場所 : 日本中央競馬会競走馬総合研究所
栃木県下野市柴1400-4

参集機関 : 家畜保健衛生所、農水省(動物検疫所、動物医薬品検査所)



↑ <https://company.jra.jp/equinst/pdf/2022SokenBrochure.pdf>

馬の輸出検疫状況②

- ・ 令和4年はカナダ産肥育用馬1ロット99頭中81頭で馬インフルエンザ摘発
- ・ 係留期間を延長し、遺伝子検査で陰性であることを確認し解放
- ・ 到着直後は馬インフルの所見は見られず、血液検査でも異状はなかった
- ・ 検疫13日までに膿性鼻汁や発咳等の個体が増加したが、症状は全体的に軽度